

ロジスティードによるアルプス物流買収－財務構成への影響は限定的。シナジー効果に注目

以下は、ロジスティード株式会社（証券コード：－）の「株式会社アルプス物流（証券コード：9055）に対する公開買付けの開始予定に関するお知らせ」についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は本日付でアルプス物流の子会社化を目的とした TOB を実施する旨を公表した。アルプス物流からは本件に賛同する旨が発表されている。当社はアルプス物流株式を 100%保有する予定である SPC の 80%の株式保有を計画しており、残りの 20%はアルプスアルパインが保有する予定となっている。買付金額は約 1,052 億円の予定であり、主に有利子負債による調達が見込まれている。
- (2) TOB に伴い有利子負債は増加する可能性が高いものの、当社の財務基盤を考慮すれば影響は限定的と考えられる。アルプス物流が得意とする電子部品物流事業や商品販売事業において当社の既存事業とのシナジー強化が見込まれる。さらに同社が展開する生協向けを主力とする消費物流事業など、当社にとって新たな事業分野の取り込みによる事業領域の拡大も期待される。JCR では今後の当社の取り組みの成果を確認し、必要に応じて信用力評価に織り込んでいく方針である。

（担当）上村 暁生・加藤 直樹

【参考】

発行体：ロジスティード株式会社

長期発行体格付：A

見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル